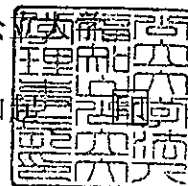


福公大発第74号
令和2年8月3日

公立大学法人福知山公立大学評価委員会
委員長 青山公三様

公立大学法人福知山公

理事長 井口 和



意見書

令和2年7月28日付で照会のありました「令和元年度及び中期目標評価（4年終了時）に係る公立大学法人福知山公立大学業務の実績に関する評価結果案」について、公立大学法人福知山公立大学に関する年度評価実施要領及び公立大学法人福知山公立大学に関する中期目標評価実施要領に基づき、別紙のとおり本法人の意見を提出します。



評価書原案に対する意見

中期計画期間中に自己評価基準を変更し、ご迷惑をおかけしたことについてお詫び申し上げます。

1. 評価について

①期間評価

中期目標を達成するために、中期計画を作成し、それを年度に分解した年度計画に沿って取り組んでいます。したがって期間評価にあたっては過去の評価点の平均値を使用することは妥当な方法と考えます。

しかしながら、設置団体や法人が重視している項目（例：中期計画第3 研究教育上の基本組織における「早期に入学定員200名を実現する」）の場合には実施できたのであれば高く評価すべきと考えています。

また、複数年にわたり取り組む場合には目標達成に向けて重要な取組となる年度があります。このような場合には単純平均では表現できない場合があります。

②小項目別評価

評価委員会の小項目別評価は法人自己評価に準じて行われていると思われませんが、「3…年度計画を概ね実施している」とはどのような実績が該当するのでしょうか。

年度評価、期間評価の評価基準に関して協議できる場が設けられることを要望します。

③その他

中期計画、年度計画の内容・表現について稚拙な点があったことが評価を難しくしていることは否めないことを付記しておきます。また、中期目標については検討が不十分なまま固定されており、その後の変更がされていません。

2. 広報の効果測定について

ご指摘のあった広報活動の効果測定については過去ホームページの各ページへのアクセスを調査しています。しかし、例えばオープンキャンパスに関する広報活動は高校訪問、ポスター、受験媒体、地方紙広告、ホームページ等で行っており、成果は来場者数となります。個々の手段がどこまで貢献しているかは掴むことができず苦慮しています。具体的な効果測定があればご紹介いただけませんか。

知名度向上の場合にはどのように考えればよいか合わせてご指導いただければ幸いです。